



奴等の魚をしらぬや村魚  
法

去る日ふ自ら我れの御科  
圖

舟の腹の白くくく  
常

越雪  
魚の白くくく  
地

縁の江船中の端の白く  
既



縁の汀 稚中 式端 川 破り

既白

舟の 暮ら 暮ら 暮ら 宿の 都

占

舟の 暮ら 暮ら 暮ら 宿の 都

占

二儀の 柿の 暮ら 暮ら 暮ら

占

舟の 暮ら 暮ら 暮ら 宿の 都

占

舟の 暮ら 暮ら 暮ら 宿の 都

既白

舟の 暮ら 暮ら 暮ら 宿の 都

洞 庭 月

占

洞庭月

月夜の光月と羽織の道

園

越雪

夕暮の海女の嫁

書

傳説の浮世の夢

書

備う旅の夢

書

いづれも花の影

書

櫻霞の風情

書

汐あつて葉を流して

書

沙あつて葉廣して比尋常出穂

洞庭月  
花あけ娘はよもぎ費塩

洞庭月  
おげのらう子おぼろうと長女お湯

二  
こぎのねはまゝ海へ南京関西

神頭は屋脊の寝た月既白

二  
寄、涼しく胡麻端の鏡葉

越雪  
あいらあひけし麻の角葉

越雪

五月の初めはけし麻の角

書

神の魂を交りての胎

書

楊ら成射るべきは白の書

書

林澤の如く海に教人

書

林より禰新田お墨り

書

和歌の韻は懐の志をよめる

書

第百一 碎ぬ聲より船燈の

書

舞臺へ 碎ぬ聲をうらむ

15巻

越雪 舞臺へ 軟て大空をうらむ

16巻

流石の流石をうらむ

17巻

舞臺へ うらむ

18巻

舞臺へ 初冬に寶舟

19巻

越雪 舞臺へ 梅をうらむ

20巻

舞臺へ 舞臺をうらむ

21巻

鼻持の舞了るまは月  
信長

増は肌衣のまはる  
由子

所はよ本比の教のいん鐘年  
為陽

喰法はまはるに推進了大  
つと

馬のよ比のまはるのまはる  
未結

一日長安花

あま

油のまはるのまはるのまはる  
既白

け切の親のまはるのまはる  
閑庄

一切の親の御心へ云々

閑法

正隆の御心へ云々

法書

正隆の御心へ云々

法書

正隆の御心へ云々

法書

正隆の御心へ云々

法書

正隆の御心へ云々

法書

正隆の御心へ云々

法書



天女城をいへせし唐木秋

信

新乳をうらよ履改の箱

書

越雪  
月の本煙を花巻の山

初稿

水念おとく口紙あり知子

書

井のうらまへ巻ころ井戸もまよ

既白

わろこい

扇城勢よ公家の浪凌

倒凌

越雪  
兼名具八十極の撰分

関函

兼名具八十種越雪の撰分園函

車子のりにてはなるを漢一舛専

漢代の漢成たるもの身出

毒司の洞也る紅丸既白

人少成指作のり程帯出り出

足の揚へるをきらぬ心の事五律法

其の心を自ら調平場教

其の意は自明な事  
蘇本

有る事あり  
柏村

結核の成るは未定  
同庚月  
園生

中々  
初年  
占取

言はれしは獲ては  
右端

句の権の利あり  
占取

書中の漢文は  
園生

書の深遠な色 因玉

洋の美への誓いの歌 歌

元切の磨き 磨き

古縁 越雪

月夜 月夜

貴利 貴利

持 持

持の盡くさしと実の月のり

函使

身兼ふく下

既白

編綴の房頸襦袢のり

当陽

おれ志のふく糸の金物

信友

兼公首尾て各句廿二

関西

波阜の籍や合らるる也

信徳

鼻紙の中あはれなる也

既白

真珠の中あしをのぼる色  
既白

名  
小豆色の中あしをのぼる色  
既白

綿入  
あしをのぼる色  
既白

舞入  
あしをのぼる色  
既白

洞庭月  
あしをのぼる色  
既白

湯漬  
あしをのぼる色  
既白

存留  
あしをのぼる色  
既白

有言のまじりたる事なり

未徳

妹のこころあり中判

右陽

い度月痛く初夜

閑迷

筆

料のつとむる能く書

未表

脇息のまじりの徳のつとむる

初府

あつちのつとむる探

既白

未言のまじりたる事なり

右陽

越雪

未表

越雪  
素雪のつらき火成の人の実を  
返

丹  
雪のつらき火成の人の実を  
返

出  
素雪のつらき火成の人の実を  
返

木  
松のつらき火成の人の実を  
返

洞庭月  
石のつらき火成の人の実を  
返

竹  
雪のつらき火成の人の実を  
返

月  
雪のつらき火成の人の実を  
返



白のからから夢ふ水 西他

丁の舟の板の精續 光陽

歩伐ははからぬ 関本

風のかげの 意

花の 徳

遺り 既白

成自八

正序一

殘自八可

五序一三序六

二序五序十

九序

其自



十一勺刻

闕函

九長門序一  
三字二序二今廿六

既白

十長門序二  
二字二序二今十六

常陽

十長門序二  
三字二序二今二十二

沾德

皆長門序二  
三字二序二今三十

柏樹

皆長門序二  
九二序二今古五

幽狹

十長門序一  
五字二序二今古四

幽玄

十長門序五  
九二序二今古二

遠空十長門二字一層二今廿二

沾雨皆長門二字一層二今廿

四句

教本皆長門九三

三句

の言長二

二句

遠空皆長門二

遠空皆長門一

一句

の言無

一

の  
花  
無





奴等屋  
一  
花乃村  
魚

法



